

取扱説明書  
INSTRUCTION

JCC06・V175C・  
JV176・JVR4C・  
F33

該当機種

V172・V174・V175・V176・VR42・VR43・  
VS72・VS75・VS76

セイコーウォッチ株式会社

2206

弊社製品についての修理その他のご相談は、「お買い上げ店」で  
承っております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

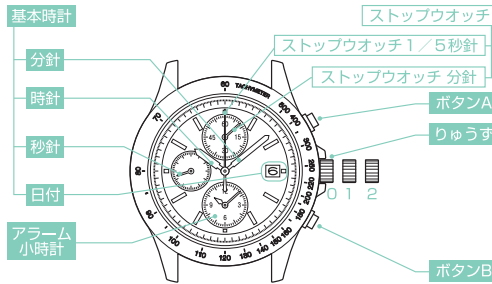
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪府西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>

各部の名称と主なはたらき

V172・VS72：ストップウォッチ・アラームつき



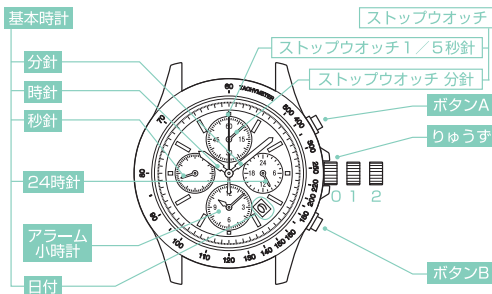
1段目：日付合わせ・アラーム時刻の設定  
2段目：時刻合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ・システムリセット  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。  
※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけません場合があります。  
※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずがしってお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着して発生の原因となります。

特長

- ・この時計はストップウォッチ機能を搭載したソーラーウォッチです。
- ・ソーラーセルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、二次電源を充電して時計を動かしています。
- ※クロノグラフとはストップウォッチ機能のついた時計のことです。
- ストップウォッチ機能  
…… V172、174、175は1/5秒単位、V176は1/20秒単位、VR42、43は1秒単位で計測できます。
- アラーム機能  
…… 設定した時刻に1回だけ鳴るワンタイムアラームです。1分単位で11時間59分先の時刻まで設定が可能です。(V172、V174、VS72のみ)
- ソーラー充電機能  
…… V172、174、175、176、VS72、75、76はフル充電で約6ヶ月間、VR42、43は約4ヶ月間動きつづけます。

V174：ストップウォッチ・アラーム・24時間表示つき



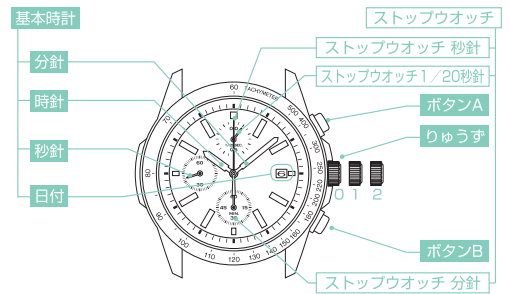
1段目：日付合わせ・アラーム時刻の設定  
2段目：時刻合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ・システムリセット  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

V175・VS75：ストップウォッチ・24時間表示つき



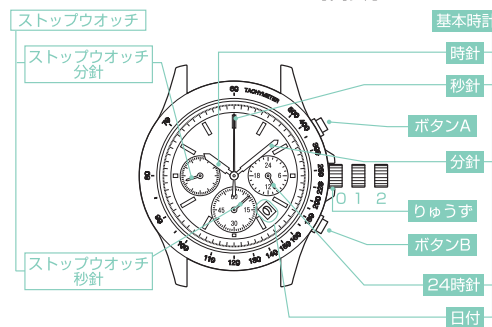
1段目：日付合わせ・アラーム時刻の設定  
2段目：時刻合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ・システムリセット  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

V176：ストップウォッチつき



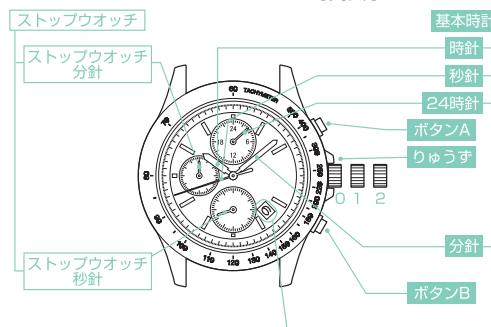
1段目：日付合わせ  
2段目：時刻合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ・システムリセット  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

VR42：ストップウォッチ・24時間表示つき



1段目：日付合わせ  
2段目：時刻合わせ・針位置合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

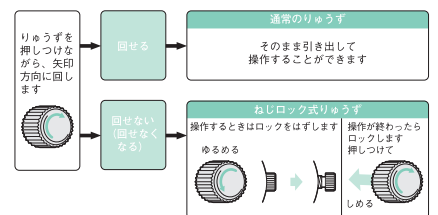
VR43：ストップウォッチ・24時間表示つき



1段目：日付合わせ  
2段目：時刻合わせ・針位置合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

りゅうずについて

りゅうずを時計に押し付けながら右回りに回した際、回せない場合は「ねじロック式りゅうず」です。ねじロック式りゅうずの場合は、りゅうずを左回りに回してロックをゆるめてから操作を行います。操作終了後は、りゅうずを押し付けながら右に回しロックします。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこすおそれがありますので、ご注意ください。

## 時刻・日付の合わせかた

### 時刻と日付の合わせかた

※日付のみ修正をするときは、「月末の日付修正について」を参照してください。

#### ① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。

2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

#### ② 時計の針が午後9時～午前1時でないことを確認する

時計の針が午後9時～午前1時のときは、リゅうずを2段目まで引き出して回し、一旦時刻を午前1時よりも進めておきます。

※日付を回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。  
※時計を2周させるごとに、日付が「1日ぶん」修正されます。リゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせてください。(V174・V175、VR42、VR43、VS75は24時間表示で午前・午後が確認できます。)

#### ③ リゅうずを1段引く

※時計は動き続けます。

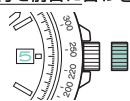
※ねじロック式リゅうずの場合は、ロックを外してください。



#### ④ リゅうずを回し、日付を前日に合わせる

※V172・V174・V175・V176・VS72・VS75は時計回り、VR42・VR43は反時計回りに回してください。

例：合わせたい日付が「6日」のときは「5日」に合わせます。

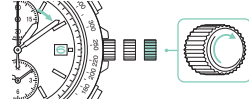


#### ⑤ 秒針が0秒位置になったときにリゅうずを2段目まで引く

秒針が0秒位置で止まります。



#### ⑥ 時計回りに針が進むように、矢印の方向にリゅうずを回し、合わせたい日付になるまで針を進める

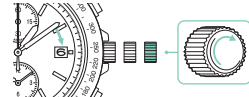


#### ⑦ 時計回りに針が進むようにリゅうずを矢印の方向に回し、基本時計の時刻を合わせる

午前・午後を確認して時刻を合わせてください。  
※V174・V175・VR42・VR43・VS75は24時間表示で午前・午後が確認できます。  
※正確な時刻に合わせるために、合わせたい時刻の4分～5分先まで進めてから針を戻して合わせてください。

●V172・V174・VS72をお使いの場合・・・今の時刻から2分ほど先の時刻に合わせておすすめます。

⑧ (このあとこの操作をするためです。)



●V175・V176・VR42・VR43・VS75・VS76をお使いの場合・・・⑨へお進みください。

#### ⑧ ボタンBを押してアラーム小時計を基本時計の時刻に合わせる (V172・V174・VS72のみ)

ボタンBを押し続けると早送りします。

※アラーム小時計に午前・午後との区別はありません。

アラーム小時計

ボタンB  
押し



#### ⑨ 時報などに合わせてリゅうずを押し戻す

操作は完了です。時計が動きはじめます。



※ねじロック式リゅうずの場合はロックをしてください。

### 月末の日付修正について

この時計の日付表示は、1日～31日となっています。小の月(2、4、6、9、11月)が終わった翌日などに、日付修正を行ってください。

※日付のみ修正をするときも、この操作を行ってください。

#### ① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。

2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

#### ② 時計の針が午後9時～午前1時でないことを確認する

午後9時～午前1時のときは、「時刻と日付の合わせかた」で合わせるか、時間帯を変えて合わせてください。

#### ③ リゅうずを1段引く

※時計は動き続けます。

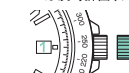
※ねじロック式リゅうずの場合は、ロックを外してください。

例：「31日」から「1日」に修正するとき



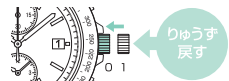
#### ④ リゅうずを回し、日付を合わせる

※V172・V174・V175・V176・VS72・VS75は時計回り、VR42・VR43は反時計回りに回してください。



#### ⑤ リゅうずを押し戻す

※ねじロック式リゅうずの場合はロックをしてください。



## ストップウォッチ機能について

V172、174、175は、1/5秒単位で最大60分まで計測できます。60分計測後は、0分0秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

### ストップウォッチ機能部の名称とはたらき (V172・V174・VS72)



### ストップウォッチ機能部の名称とはたらき (V175・VS75)



V176は、1/20秒単位で最大60分まで計測できます。60分経過後は、0分0秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

### ストップウォッチ機能部の名称とはたらき (V176・VS76)



〈ストップウォッチ1/20秒針の動きについて〉  
・この針は約1分連続して運針すると、自動的にその動きを止めます。

・自動的に止まった後、スプリットおよびストップの操作があると、計測した時間を示します。

・スプリット解除後や再スタート後では、1分連続運針後ストップウォッチ秒針が0秒を通過するタイミングで、自動的に動きを止めます。

・スタート後、「ストップ、再スタート」を繰り返す、または「スプリット、スプリット解除」を繰り返した場合、最後の操作があつてから、最大2分動き続けます。

## ■ストップウォッチの使いかた

VR42/43は、1秒単位で最大29分59秒まで計測できます。30分経過後は、0分0秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

■ストップウォッチ機能部の名称とはたらき (VR42・43)

ストップウォッチ 分針



ボタンA  
スタート/  
ストップ

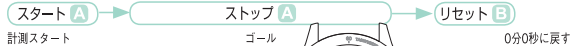
ボタンB  
スプリット/  
リセット

ストップウォッチ 秒針

※ サブダイヤルと針の位置は機種によって異なります。  
※ 秒針が2秒ごとに動いているときは、ストップウォッチの操作しても作動しません。

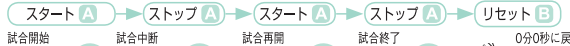
### ・通常の計測

例：5000メートル走



### ・積算で計測を行う場合

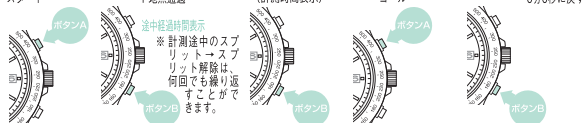
例：サッカーの試合時間計測



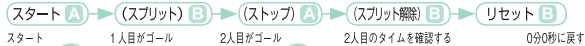
### ・スプリットタイム (途中経過時間) の計測

例：5000m走

※ スプリットタイムとは、スタートからある地点までの途中経過時間のことです。



### ・2人のタイムを計測する場合



## ■ストップウォッチ針の基準位置を合わせる

ストップウォッチをリセットしてもストップウォッチ針が0分0秒位置に停止しないときは、基準位置がずれていることが考えられます。ストップウォッチ針の基準位置は、それぞれ「0秒・0分」です。基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

基準位置がずれる理由として、以下のことが考えられます。

- ・強い衝撃を受けたとき：落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
- ・磁気の影響を受けたとき：磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。

※ ストップウォッチ針の基準位置合わせを行うと時刻がずれます。基準位置合わせを行ったあとは基本時計とアラーム小時計の時刻を合わせなおしてください。

### V172・V174・V175・VS72・VS75

#### ① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

#### ② りゅうずを2段引く

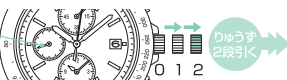
秒針が止まります。

※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。

#### ③ ストップウォッチ分針が動くまでボタンAを押す (3秒)

ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。

※ ストップウォッチ分針がどの針か分からないときは、「各部の名称と主なはたらき」をご確認ください。



#### ④ ボタンBを押してストップウォッチ分針を「0分」にする

1分送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※ 「0分」の場合は、⑤の操作へ



#### ⑤ ストップウォッチ1/5秒針が動くまでボタンAを押す (3秒)

ストップウォッチ1/5秒針が1回転し、「ストップウォッチ1/5秒針」の基準位置合わせモードに入ります。



#### ⑥ ボタンBを押してストップウォッチ1/5秒針を「0秒」にする

1/5秒送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※ 「0秒」の場合は、⑦の操作へ

#### ⑦ りゅうずを押し戻す

#### ⑧ 基本時計・アラーム小時計を合わせる

基準位置合わせを行うと基本時計とアラーム小時計の時刻がずれます。基本時計とアラーム小時計の時刻を合わせたら操作は終了です。

### V176・VS76

#### ① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

#### ② りゅうずを2段引く

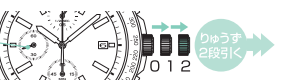
秒針が止まります。

※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。

#### ③ ストップウォッチ1/20秒針が動くまでボタンAを押す (3秒)

ストップウォッチ1/20秒針が1回転し、「ストップウォッチ1/20秒針」の基準位置合わせモードに入ります。

※ ストップウォッチ1/20秒針がどの針か分からないときは、「各部の名称と主なはたらき」をご確認ください。



#### ④ ボタンBを押してストップウォッチ1/20秒針を「00」にする

1/20秒送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※ 「00」の場合は、⑤の操作へ



#### ⑤ ストップウォッチ秒針が動くまでボタンAを押す (3秒)

ストップウォッチ秒針が1回転し、「ストップウォッチ秒針」の基準位置合わせモードに入ります。



⑥ ボタンBを押してストップウォッチ秒針を「0秒」にする

1秒送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※「0秒」の場合は、⑦の操作へ

⑦ ストップウォッチ分針が動くまでボタンAを押す(3秒)  
ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。

⑧ ボタンBを押してストップウォッチ分針を「0分」にする

1分送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※「0分」の場合は、⑨の操作へ

⑨ 基本時計を合わせる  
基準位置合わせを行うと基本時刻の時刻がずれます。基本時計の時刻を合わせた後操作は終了です。

⑩ りゅうずを押し戻す

## VR42・VR43

① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

② りゅうずを2段引く

秒針が止まります。

※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。

③ ボタンAまたはボタンBを押して、ストップウォッチ(秒・分)を基準位置である「0分0秒」に合わせてください。

ボタンA: 1回押す毎に、ストップウォッチ秒針が1秒進みます。押し続けている間、早送りします。

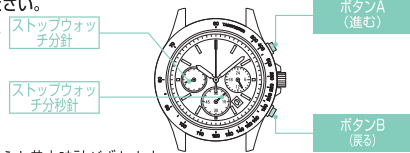
ボタンB: 1回押す毎に、ストップウォッチ秒針が1秒戻ります。押し続けている間、早送りします。

※ストップウォッチ(秒・分)は、連動して動きません。

④ 基準時刻を合わせる

ストップウォッチ(秒・分)の基準位置合わせを行うと基本時計がずれます。

基本時計を合わせたら操作は終了です。



## ■タキメーター (TACHYMETER) の使いかた

タキメーター (TACHYMETER) の数字を読み取ることで、時速や単位時間あたりの出来高などが簡単にわかります。

・時速の計測

① 1km走るのに要した時間を計測する(1分以内)

② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る

例: 1km走るのに45秒かかった場合・・・80km/h



・1時間あたりの出来高

① 製品1個が出来上がるのに要した時間を計測する(1分以内)

② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る

例: 製品1個が出来上がるのに20秒かかった場合・・・180個/h

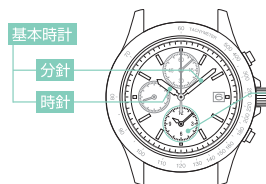


## ■アラームの使いかた (V172・V174・VS72)

設定した時刻に1回だけ鳴るワンタイムアラームです。

基本時計とアラーム小時計の時刻が一致すると、アラーム音が鳴ります。

11時間59分先の時刻まで1分単位で設定することができます。



※秒針が2秒ごとに動いているときは、アラーム音が鳴りません。またアラーム時刻の設定もできません。

アラーム小時計

アラームが設定されている場合: アラーム時刻を示します  
アラームが設定されていない場合: 現在時刻(基本時計と同じ時刻)を示します

## ■アラーム時刻の設定のしかた

① りゅうずを1段引く

※時計は動き続けます。  
※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。



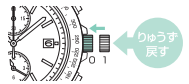
② ボタンBを押してアラーム時刻を設定する

ボタンBを押し続けると早送りします。  
※合わせたい時刻を過ぎてしまった場合は、さらに進めて合せてください。  
※ボタンBを押し続けると、基本時計の時刻で針態になります。



③ りゅうずを押し戻す

※ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。



## ■アラーム音を止めるには

・設定したアラーム時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。  
・アラーム音を止めるにはボタンAまたはBを押してください。

※ストップウォッチが動いているときは、通常のアラーム音と異なりますが故障ではありません。  
※アラーム音が鳴っているときにボタンAまたはBを押すとアラーム音は止まりますが、ストップウォッチの操作はできません。アラーム音が止まった後にストップウォッチの操作を行ってください。

## ■アラーム時刻の設定を解除するときは

・設定したアラーム時刻を解除したいときは、アラーム時刻を基本時計と同じ時刻に合わせなおしてください。

## ■アラーム音の試験について

・りゅうず1段目でボタンAを長押し(約4秒)すると、押し続けている間アラーム音の試験ができます。  
※試験が終わったら、りゅうずを押し戻してください。ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。

## ■エネルギー残量の表示機能について (VR42・VR43)

この時計は、ソーラー充電機能で得られたエネルギー残量を確認できます。

① ストップウォッチがリセットされていることを確認します。

※ストップウォッチ使用中の場合は、リセットしてください。  
作動中の場合は、ボタンAでストップ後、ボタンBでリセットします。

③ ストップウォッチ秒針が「エネルギー残量」を示します。(約3秒間)

エネルギー残量	十分	半分	やや少ない
ストップウォッチ秒針の位置	45秒位置	40秒位置	35秒位置

※「エネルギー残量」は目安とお考えください。  
※秒針が2秒運動をしている場合は、文字板に光をあてて充電してください。

② ボタンBを2秒以上長押しします。ストップウォッチ秒針が、30秒を示します。



④ ストップウォッチ秒針は自動的に「0秒」位置に戻ります。

## ■充電について

### ■充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。

快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

・時計が衣類のそでの中に隠れている  
・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は製品仕様の表を参照してください。)

※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、表をめやすに十分な充電をしてください。

### ■充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

環境 (lx・ルクス)	V172.V174.V175.V176			VR42.VR43			VS72.VS73.VS75		
	A(分)	B(時)	C(時)	A(分)	B(時)	C(時)	A(分)	B(時)	C(時)
一般オフィス蛍光灯 (700)	150	60	—	108	24	—	90	35	—
30w20cm・蛍光灯 (3000)	33	13	110	27	6	83	20	8	65
曇天 太陽光 (10000)	9	3.5	30	8	2	25	6	2.5	18
快晴 太陽光 (100000)	2	0.6	5	1	0.2	3	2	0.6	5

A: 1日分を補充するために必要な時間。

B: 時計が止まっている場合に、安定した運針※になるまでに必要な時間。

※秒針付の時計の場合: 1秒運針になるまで。

C: フル充電までに必要な時間。

※充電に必要な時間はモデルによって若干異なります。

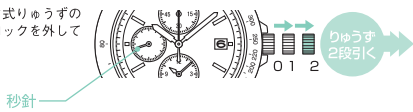
## ■万が一、充電しても動かない、または異常な動きになったとき (VR42・VR43を除く)

万が一、十分に充電しても動かないときや1秒運針にならないとき、または異常な動きになったときは、次の操作を行うことで正常に機能するようになります。

### ■システムリセットをする

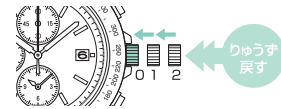
#### ① りゅうずを2段引く

秒針が止まります。  
※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。

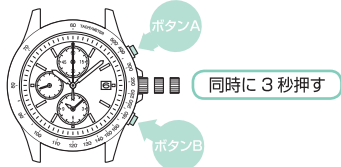


#### ③ りゅうずを押し戻す

秒針が動きはじめます。  
秒針が2秒ごとに運針をしているときは、1秒ごとの運針になるまで十分な充電をしてください。



#### ② ボタンA、Bを同時に3秒押す



#### ④ ストップウォッチ針の基準位置を合わせた後、時刻・日付を合わせる

※「ストップウォッチ針の基準位置を合わせる」を参照してください。  
※「時刻・日付の合わせかた」を参照してください。

ストップウォッチ針の基準位置と、時刻・日付を合わせたら操作は終了です。

## ■電池について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しく下さい。

### ⚠警告

- 二次電池交換時のご注意
- ・二次電池は取り出さないでください。
  - ・二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。時計販売店にご依頼ください。
  - ・一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

#### ※過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超過して充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能が作られます。フル充電までの所要時間については「機種別充電時間のめやす」を参照してください。

### ⚠警告

- 充電時のご注意
- ・充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
  - ・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
  - ・時計が50℃以上にならないようにしてください。

## ■使用上の注意とお手入れについて

### ●製品取扱上のご注意

#### ⚠警告

- ・次のような場合、ご使用を中止してください。
  - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
  - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・時計から二次電池を取り出さないでください
  - ※二次電池について → 電池について
  - 二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
  - 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。
- ・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーストップウォッチをご使用ください。

#### ⚠注意



- ・以下の場所での携帯・保管は避けてください。
  - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
  - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
  - 高温多湿なところ
  - 磁気や静電気の影響があるところ
  - ホコリの多いところ
  - 強い振動のあるところ
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
- ・水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。
  - ※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
  - お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。防水時計でもガラスの接着面・バックインの劣化やステンレスがさびるにより、防水不良になるおそれがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
- ・その他のご注意
  - 商品の分解・改造はしないでください。
  - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
  - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
  - 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

### ●耐磁性能について (磁気の影響)

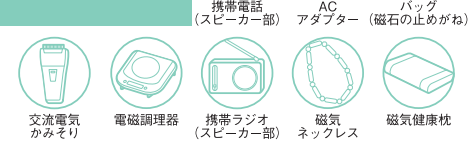
・この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気性品より10 cm以上遠ざける必要があります。
	磁気性品より5 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS 1種)
	磁気性品より1 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS 2種)

※磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。

時刻を合わせ直してお使いください。  
磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。  
この時計が磁気の影響を受ける理由  
内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

### 時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



### ●お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください。  
・りゅうずを引き出して洗わないでください。  
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。  
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。  
りゅうずは時々回してください。  
・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

### ●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたでご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 <b>警告</b> 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20)BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気ポンプを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

### ●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。  
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

### 金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出ししている場合は、怪我をされるおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

### 皮革バンド

- 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。

- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

### ポリウレタンバンド

- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

### かぶれやアレルギーについて

- バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
- バンドサイズのめやすについて  
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。  
時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

## 製品仕様

型式番号	V172	V174	V175	V176	VR42・VR43	VS72	VS75	VS76
1. 基本機能	基本時計3針 (時・分・秒針) 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5秒・分針) アラーム小時計 (時・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 24時針 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5秒・分針) アラーム小時計 (時・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 24時針 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5秒・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 日付表示 ストップウォッチ針 (1/20秒・秒・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 24時針 日付表示 ストップウォッチ針 (秒・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5秒・分針) アラーム小時計 (時・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 24時針 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5秒・分針)	基本時計3針 (時・分・秒針) 日付表示 ストップウォッチ針 (1/20秒・秒・分針)
2. 水晶振動数	32,768 Hz (Hz = 1秒間の振動数)							
3. 精度	平均月差 ± 15秒以内 (気温5℃～35℃において腕に着けた場合)				平均月差 ± 20秒以内 (気温5℃～35℃において腕に着けた場合)			
4. 作動温度範囲	-10℃～+60℃				-5℃～+50℃			
5. 駆動方式	ステップモーター式 4個	ステップモーター式 4個	ステップモーター式 3個	ステップモーター式 4個	ステップモーター式 2個	ステップモーター式 4個	ステップモーター式 3個	ステップモーター式 4個
6. 使用電源	専用二次電池：1個							
7. 持続時間	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間、アラーム1回(20秒間))	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)	約4ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間、アラーム1回(20秒間))	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)	約6ヶ月 (1日の使用条件が、ストップウォッチ1時間)
8. 電子回路	発振、分周、駆動、充電回路：IC 1個							

### ※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。  
二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ アフターサービスについて

### ●保証と修理について

- ・修理の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。  
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

### ●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。